
■ 選定状況

県内には動物が 9,327 種、植物が 5,987 種、合計 15,314 種の生物が生息・生育しています。（レッドデータブックひろしま 2003）

選定種については、県内で多くの生息生育が確認されるようになった種等をレッドリストの対象外とする一方、生息地の改変やニホンジカの食害等により生息生育状況が悪化した種や調査により危機的状況が明らかになった種等を追加して全体で 1,000 種となりました。

（前回 751 種）。

この選定種数の増加は、前回改訂以降、他の研究論文等の文献を詳細に調査したこと等により明らかになったことによるものです。

また、過去 50 年間前後の間に信頼できる生息・生育状況の情報が得られていない等の理由で絶滅種が 19 種に、調査範囲の拡大などにより絶滅危惧 I 類が 229 種となりました。一方、保全活動により危機的状況が改善されたことなどにより、危険度の低いランクに移行したものもあります。